

本資料のうち、枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

柏崎刈羽原子力発電所第6号機 設計及び工事計画審査資料	
資料番号	KK6-012改0
提出年月日	2024年2月5日

重大事故等時の動荷重に係る機器仕様の比較

2024年2月

東京電力ホールディングス株式会社

目 次

1. 概要	1
2. 比較	2
3. 比較結果	5

1. 概要

本資料は、柏崎刈羽原子力発電所第6号機（以下「柏崎刈羽6号機」という。）及び柏崎刈羽原子力発電所第7号機（以下「柏崎刈羽7号機」という。）において、重大事故等時の原子炉格納容器に生じる動荷重に影響する主な機器仕様を比較したものである。

2. 比較

柏崎刈羽 7 号機	柏崎刈羽 6 号機

図 1 柏崎刈羽 6 号機及び 7 号機の比較（逃がし安全弁）（1/2）

柏崎刈羽 7 号機	柏崎刈羽 6 号機

図 1 柏崎刈羽 6 号機及び 7 号機の比較（逃がし安全弁）（2/2）

表1 柏崎刈羽6号機及び7号機の圧力抑制機能の構造、寸法等比較

		柏崎刈羽原子力発電所 第6号機	柏崎刈羽原子力発電所 第7号機
1	水平吐出管の縦列数 (多段ベントの段数)		
2	水平吐出管の内径		
3	水平吐出管の垂直方向の間隔 (水平吐出管中心線距離)		
4	水平吐出管の水浸部深さ 〔 トップベント上端から プール水表面までの距離 〕		
5	プール底から水平吐出管 までの距離 〔 ボトムベント下端から プール底までの距離 〕		
6	$\frac{\text{実効破断面積}}{\text{ベント管流路面積}}$		

3. 比較結果

比較の結果、重大事故等時の原子炉格納容器に生じる動荷重に影響するような機器仕様の差異は認められない。